

企画セッション (デザイン・ブランド戦略分科会共催)

◆ デザイン戦略の新たな異議 ◆

【セッションの概要】

アップルとサムスン電子の知財訴訟では、従来の特許権を争点とするものと様相が異なり、機器の液晶画面におけるアイコンデザインなどの意匠権や、製品のパッケージなどのトレードドレスが取り上げられ、アップルのデザイン・ブランド戦略が明確に示されたことでも注目された。

一方、日本特許庁では数年にわたり、画面デザインの保護強化に向けて検討を行ってきたが、昨年法改正は見送られたものの、画面デザイン保護強化そのものについては特許庁内で検討が進んでいる。

本企画セッションでは、こうした内外の動きを踏まえ、デザイン戦略の最近の動向と政府の対応について紹介、議論する。

■ 基調講演 1

「アップルサムスン訴訟の総括 (FRAND の議論以前まで) :
デザインパテントの戦略性について」

藤野仁三氏 (前東京理科大学専門職大学院教授)

【略歴】 早稲田大学大学院法学研究科修了 (経済法専攻)。日本企業および米総合法律事務所にてライセンス契約、海外知財法制調査、海外訴訟支援などを担当。平成 17 年から 27 年まで東京理科大学専門職大学院 MIP 教授。平成 27 年 4 月から同大学院嘱託教授。東京大学情報理工系研究科非常勤講師。専門は技術標準論と米国特許法。近著に「知的財産と標準化戦略」(八潮社)。「IP Management Experts Network」メンバー。



■ 基調講演 2

「画面デザイン保護の現状と問題点 : 産業構造審議会意匠小委員会の審議過程の総括と政府の対応」

山田繁和氏 (特許庁審査第一部意匠課長)

【略歴】 平成 2 年特許庁入庁、平成 6 年 審査第一部 意匠審査官、その後、総務部 電子計算機業務課システム開発室機械課専門官、同 総務課大学等支援室 普及班長、審査業務部 意匠課 調査班長、(独)工業所有権情報・研修館人材育成部 部長代理、審査業務部 意匠課 意匠機械化企画調整室長、同 意匠課 意匠制度企画室長、審査第一部 民生意匠審査長を経て、平成 26 年 7 月 審査第一部 意匠課 意匠課長 (現職)



企画セッション (デザイン・ブランド戦略分科会共催)

◆ デザイン戦略の新たな異議 ◆

■ パネルディスカッション 「デザイン戦略の意義」

<パネリスト>

藤野仁三教授 (東京理科大学イノベーション研究科)

山田繁和課長 (特許庁審査第一部意匠課)

杉光一成教授 (K. I. T. 虎ノ門大学院 知的創造システム専攻)

平野哲行氏 (平野デザイン設計代表取締役社長)

<モデレータ>

高倉成男教授 (明治大学法科大学院)

◇杉光一成教授

K. I. T. 虎ノ門大学院 知的創造システム専攻

【略歴】東京大学大学院・修士(法学)、東北大学大学院・博士(工学)。(株)東芝・知的財産部等を経て、金沢工業大学教授(現在に至る)。2009年に経済産業省「知財功労賞」受賞。知的財産教育協会専務理事。日本知財学会理事。



◇平野哲行氏

平野デザイン設計代表取締役社長

【略歴】イリノイ工科大学建築学科卒業。コマツ、全日本空輸など日本大手企業のデザイン戦略のコンサルティングを担い、また建築分野においても、日本サッカー協会ビルのデザインコーディネーションを手掛ける。現在、大阪大学、九州大学、東京工業大学、早稲田大学などの講師を勤め、イリノイ工科大学非常勤教授/スペシャルアドバイザーでもある。平成25年度産業財産権制度関係功労賞者表彰 経済産業大臣表彰 (知財功労賞) 受賞。



◇高倉成男教授

明治大学 法科大学院

【略歴】

1976年、京都大学大学院(情報工学専攻)修了。同年特許庁入庁。特許庁ではコンピュータ分野の審査・審判に従事しつつ、国際交渉も担当。内閣府参事官(知的財産問題担当)、工業所有権研修所長、審判部長等を歴任し、2008年、特許庁を退職。2009年より現職。

